

事務事業名		部落解放愛する会佐野市協議会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり						担当係	人権推進係	担当課長名	小菅 誠		
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 人権問題の解決						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	1903	一般	2	1	12	部落解放愛する会佐野市協議会支援事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
							実施方法	直営					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S53年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市人権推進事業促進費補助金交付要綱	事業分類	支援事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
部落解放愛する会佐野市協議会の活動を支援するための補助金を交付し、団体が行なう人権推進事業を支援している。 ※部落解放愛する会佐野市協議会は、部落差別の解消と様々な人権問題を解決することを目的とし、同和問題の解消を推進する地域出身者及び会の目的に賛同する者を会員とする団体である。			(市の活動) 年2回に分け人権推進事業促進費補助金を交付。 (協議会の活動) 自立意識高揚のための各種大会・研修会等参加、人権擁護及び人権啓発							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
補助金交付回数			回	2	2	2	2	2		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 部落解放愛する会佐野市協議会 ② 同和地区関係者 ③ 市民			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			人口		人	123,182	122,582	121,522		
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 団体が行う人権推進事業等の円滑な実施及び団体の円滑な運営と財政の健全化を図る。 ② 自立意識の高揚を図ってもらう。 ③ 同和問題を中心とした人権問題について理解を深めてもらう。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			各種大会、研修会等への参加回数		回	71	90	90	90	90
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
人権に関する問題が解決されている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			日頃から人権を意識して生活している市民の割合		%	70.6	77.0	82.0	83.0	83.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	2,430	2,320	2,210	2,210	2,210	
	事業費計(A)	千円	2,430	2,320	2,210	2,210	2,210	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	2,430	補助金	2,320	補助金	2,210
	人件費	千円	237	240	240	240	240	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,667	2,560	2,450	2,450	2,450		

事務事業名	部落解放愛する会佐野市協議会支援事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	人権推進係
-------	--------------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和53年から同和対策運動団体との協議により開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年3月の法の失効後、同和対策事業は同和対策審議会答申により、これまでの成果や課題を十分に踏まえ、人権問題の解決に向けた取組に再構築し、市政の重要課題として位置付け推進することになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	補助金等交付検討委員会から、3年～5年後に、平成22年度比20%削減するよう提言があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	補助金等交付検討委員会の提言を受けて、平成23年度から27年度までの5年間で、平成22年度比20%削減することになっており、平成26年度は前年度比約4%削減した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	同和対策運動団体が行う人権推進事業を支援することにより、人権問題解消のための活動を行ってもらう。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	当市は、施策に人権を尊重した市民参加によるまちづくりを推進しており、人権問題としての同和問題を解決することは緊急かつ重要課題である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	人権問題解消には、同和地区関係者を含む市民全体の協力が必要なため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	対象団体は、同和問題をはじめ様々な人権問題の解消を目指して最大限の事業を実施していると考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	運動団体の事業経費の見直しや自己資金の活用などにより補助金額を削減する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	同和問題を含めた人権問題が解消されることによる受益者は不特定多数の市民であり、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
同和問題が解消されたとき、事業終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 運動団体の事業内容や経費を見直し、補助額の削減を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	運動団体の理解と協力が必要であり、その協議が必要となる。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					